ふそうエアロスターの動力伝達装置（変速機）のリコールについて

ふそうエアロスターの動力伝達装置（変速機）について、平成 27 年 11 月 4 日に下記のリコールを国土交通省に届け出ました。ご愛用車の措置について、販売会社から早急にご連絡・ご相談をさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

ユーザの皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますことを、心よりお詫び申し上げます。

リコール届出番号	3669	リコール開始日	平成 27 年 11 月 5 日
不具合の部位(部品名)	動力伝達装置（変速機）		
基準不適合状態にあると認める構造､装置又は性能の状況及びその原因	自動変速機を搭載した大型路線バスにおいて、トルクコンバータ部バッキングプレートのトルクコンバータカバーへの取付けボルト締付け方法およびトルクコンバータカバーのねじ部加工が不適切なため、当該ボルトの軸力が不足しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けるとボルトが折損し、折損したボルトがトルクコンバータカバーとタービンとの間に挟まり、最悪の場合、トルクコンバータがロックアップした状態となり、エンストして走行できなくなるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、バッキングプレート取付けボルトを新品に交換し、規定トルクで締め直す。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号 の範囲及び製作期間	リコール 対象車の台数	備考
三菱	LKG-MP35FK	「ふそう エアロスター」	MP35FK-20001～MP35FK-22006 平成 22 年 9 月 16 日～平成 24 年 2 月 29 日	31	
	LKG-MP35FM		MP35FM-20002～MP35FM-22057 平成 22 年 8 月 25 日～平成 24 年 3 月 26 日	239	
	LKG-MP35FP		MP35FP-20002～MP35FP-22019 平成 22 年 9 月 17 日～平成 24 年 3 月 30 日	81	
	LKG-MP37FK		MP37FK-20002～MP37FK-22043 平成 22 年 8 月 24 日～平成 24 年 3 月 27 日	420	
	LKG-MP37FM		MP37FM-20004～MP37FM-22021 平成 22 年 6 月 24 日～平成 24 年 3 月 23 日	88	
	QDG-MP35FM		MP35FM-62001～MP35FM-63519 平成 24 年 8 月 10 日～平成 27 年 2 月 16 日	28	
	QDG-MP35FP		MP35FP-62104～MP35FP-63533 平成 24 年 8 月 10 日～平成 26 年 7 月 16 日	37	
	QKG-MP35FK		MP35FK-22007～MP35FK-64021 平成 24 年 5 月 11 日～平成 27 年 6 月 8 日	41	
	QKG-MP35FM		MP35FM-22058～MP35FM-64095 平成 24 年 4 月 11 日～平成 27 年 6 月 24 日	284	
	QKG-MP35FP		MP35FP-22020～MP35FP-64073 平成 24 年 4 月 10 日～平成 27 年 7 月 3 日	195	
	QKG-MP37FK		MP37FK-22044～MP37FK-63549 平成 24 年 4 月 11 日～平成 26 年 7 月 30 日	393	
	QKG-MP37FM		MP37FM-22022～MP37FM-63518 平成 24 年 4 月 20 日～平成 27 年 2 月 5 日	174	
	QKG-MP38FK		MP38FK-64012～MP38FK-64216 平成 26 年 7 月 18 日～平成 27 年 7 月 7 日	191	
	QKG-MP38FM		MP38FM-64011～MP38FM-64095 平成 26 年 8 月 1 日～平成 27 年 4 月 15 日	85	
	(計 14 型式)	(計 1 車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成 22 年 6 月 24 日～平成 27 年 7 月 7 日	(計 1,837 台)	

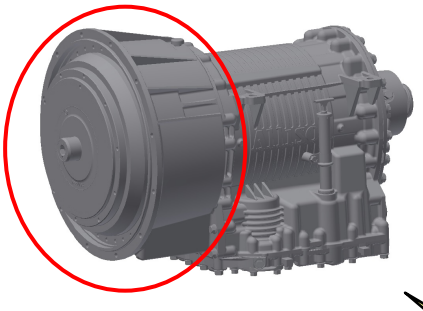
【注意事項】リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式 総排気量（CC）	備考
三菱	LKG-MP35FK	「ふそう ｴｱﾛｽﾀｰ」	普通・乗合	ﾘﾔｰｴﾝｼﾞﾝ	6M60(7,545)	
	LKG-MP35FM					
	LKG-MP35FP					
	LKG-MP37FK					
	LKG-MP37FM					
	QDG-MP35FM					
	QDG-MP35FP					
	QKG-MP35FK					
	QKG-MP35FM					
	QKG-MP35FP					
	QKG-MP37FK					
	QKG-MP37FM					
	QKG-MP38FK					
	QKG-MP38FM					

改善箇所説明図

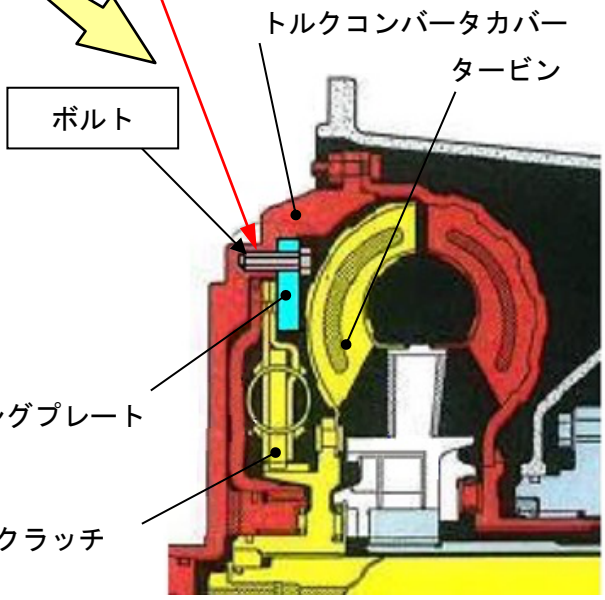




車両前方

自動変速機

基準不適合発生箇所



トルクコンバータ部

自動変速機を搭載した大型路線バスにおいて、トルクコンバータ部バッキングプレートのトルクコンバータカバーへの取付けボルト締付け方法およびトルクコンバータカバーのねじ部加工が不適切なため、当該ボルトの軸力が不足しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けるとボルトが折損し、折損したボルトがトルクコンバータカバーとタービンとの間に挟まり、最悪の場合、トルクコンバータがロックアップした状態となり、エンストして走行できなくなるおそれがある。

改善措置の内容

全車両、バッキングプレート取付けボルトを新品に交換し、規定トルクで締め直す。

注　：　□は交換部品を示す。

識別：作業完了車には、車両左後方点検リッド裏の位置に「HB166」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。